

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~1日	8月 ~8日	8月 ~15日	8月 ~22日	8月 ~29日	9月 ~5日	9月 ~12日	9月 ~19日	9月 ~26日	10月 ~3日	10月 ~10日	10月 ~17日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	115	122	34	18	11	14	8	6	12	14	13	12	7	14
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	64	63	16	9	2	10	8	7	12	12	11	31	18 (20)	16
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	8	10	2	11	1	5	4	0	3	3	3	3	2	6
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	25	17	0	4	1	5	5	9	4	3	4	6	8	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	13	14	5	5	2	5	2	2	2	5	1	4	4 (5)	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	4	0	1	0	0	2	1	4	1	0	0	0	1	2
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
\* その他の2件はアエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第41週(10月11~10月17日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1	1	1		1	1	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1						1	
四類	12	重症熱性血小板減少症候群	1			1				
		日本紅斑熱	10			5		2	1	2
		レジオネラ症	1					1		
五類	11	ウイルス性肝炎	1			1				
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1				1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1						
		梅毒	8				1	6		1
新型インフルエンザ 等感染症	135	新型コロナウイルス感染症	135	26	18	2	3	76	4	6

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第41週に76件の報告があり、先週(60件)と比べてやや増加しました。引き続き、手洗いや換気、マスク着用などの基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.83人と、前週よりやや増加しました。

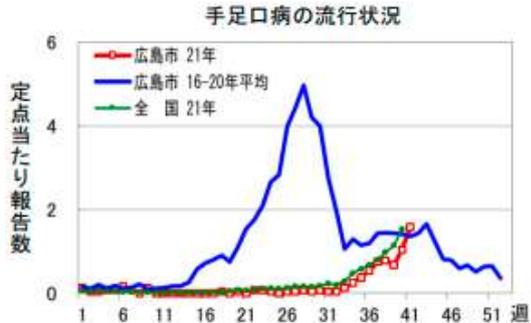
3 手足口病

定点当たり1.58人と、増加が続いています。手足口病は、いわゆる「夏かぜ」の一種ですが、今年は例年より遅れて増加しています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

4 日本紅斑熱

今年の累計は6件となり、報告数が最も多かった2018年の5件を上回りました。全国では2005年頃から増加が続き、昨年は422件(速報値)と過去最多の報告がありました。また、今年の第39週時点の報告数は325件と、昨年同時期の243件を上回っています。

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに咬まれることで感染します。山や草むらに入るときは、長袖、長ズボンを着るなど、肌を露出しないように注意しましょう。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												急増減	増減	
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.20		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.13		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	咽頭結膜熱	2	0.08	0.29			RSウイルス感染症	6	0.25	1.26		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.25	1.34		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	45	1.88	3.73	⇒		流行性角結膜炎	2	0.25	0.70		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	水痘	3	0.13	0.21		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	手足口病	38	1.58	1.36	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	伝染性紅斑	1	0.04	0.15			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.43		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	突発性発しん	5	0.21	0.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	ヘルパンギーナ	44	1.83	0.33	⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
														急増減
												急増減	増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点数を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	67	50歳代
4	日本紅斑熱	2	6	50歳代、70歳代
4	レジオネラ症	1	33	60歳代
5	梅毒	6	76	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・4人